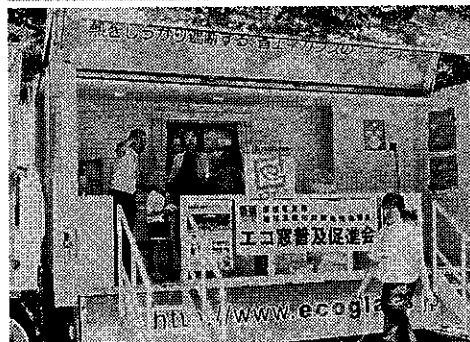
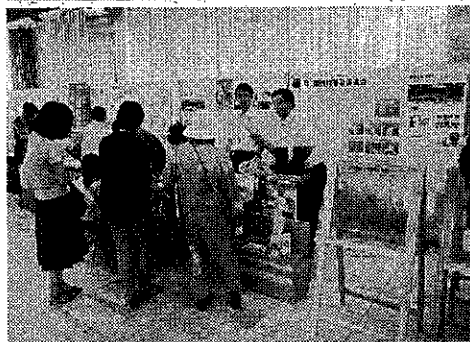


エコ窓普及促進会(上)が間伐材普及促進会(中)と出展(下は移動体感車)



としまエコライフフェア

エコ窓普及促進会出展

8月5日、子供を対象 感じてもらうと、「としまエコライフフェア」が、東京都豊島区清掃事業の歩み「23区清掃事業の歩み」住宅用太陽光発電システム

中池袋公園、生活産業プラザ、豊島清掃工場の4会場で開催された。東京都豊島区の主催。区民センターでは「ふくろうの羽ってどんなの?」「23区清掃事業の歩み」「住宅用太陽光発電システム

ム)「太陽光の力で走る電車模型」などをパネルを交えて紹介。エコ窓普及促進会(柳英夫会長)は間伐材普及促進会(有吉徳洋会長)と、「見て、触って、感じて、エコ窓のすごいパワー」「触れてみよう、間伐材とその商品」をテーマに出展した。

子供たちに単板ガラスとエコガラス(Low-E複層ガラス)の遮熱度、断熱度を体感してもらうため、デモ機を用意。「なぜ、このガラスは熱を遮るのですか」といった質問に係員が答えていた。メーカー各社の内窓も展示。「この窓が2重となって、冬・夏の外気を遮断し、エコな生活をつくり出す」と説明した。中池袋公園には、移動体感車「ガラスの森」を設置。子供たちなど多くの人の関心を集めた。

間伐材普及促進会は、里山に放置される間伐材を活用し、自然界を守る家具、玩具などの開発に力を入れ、環境問題に取り組んでいる。その一例として「もりのてんとうむし」や、障害者施設で作られた手作り商品などを展示し好評だった。